

# ケンタッキーブルーグラス新品種 「アワード」の特性と栽培のポイント

雪印種苗(株) 千葉研究農場

## 立 花 正

### 1 はじめに

ケンタッキーブルーグラスは寒地型芝草に分類され、北海道や府県の標高が高く夏季が比較的涼しい地域を中心に、ゴルフ場やサッカー場、公園等の各種の場面で主体草種として利用されています。

本草種は本来寒地での栽培に適していますが、その強健で美しい芝生を形成する特性から、関東以西でのゴルフ場のティーフラウンド、サッカー場での利用も多くなっています。その場合使用する品種にはより強い耐暑性と、耐病性が望まれるようになり、その判断基準を海外でのデータに求める方も近年多く見受けられます。しかし、高温多湿な府県と海外では栽培条件が異なるため、結果が必ずしも一致しない場合も見られます。

今回ご紹介する「アワード」は当社の研究農場（北海道、千葉、宮崎）において試験した結果、芝草としての基本特性に優れ、特に関東以西の暖地での栽培を容易にする品種として選抜され、来年から本格販売される新品種です。

### 2 主要な特性

「アワード」の特性を一言で表現すると『耐暑性、耐病性に優れ、濃緑色の美しいターフを形成する』となります。

以下に芝草の品種を評価する上で、重要な項目について、その重要性和「アワード」の特性を記

載します。

1) **越夏性**：関東以西での栽培上最も重要なことは、梅雨～夏季をいかに密度の低下が少なく生育できるかということにあり、その評価を越夏性で表します。

「アワード」は従来の品種に比較して梅雨～夏にかけての密度の低下が少ない品種です。宮崎県（三股町）では、通常の管理でケンタッキーブルーグラスが良好な生育を示すのは、従来の品種では梅雨時期までで、梅雨明けとともに急速に密度が低下し、最後には枯死に至りますが、写真1に示すように「アワード」は夏季でも比較的高い密度を保つことが確認されました。

2) **越冬性**：関東以北、特に北東北～北海道の積雪のある地域で重要なポイントとなります。

当社で販売している『リムジン』『パーティティア』は北海道を中心に選抜された越冬性に優れた品種です。「アワード」はこれら2品種に次いで良好であり、寒地でも実用上問題ないことが確認されています（表1）。

3) **耐病性**：越夏性、越冬性に優れた品種でも各種病気に罹病しやすい場合は、殺菌剤散布等のメ

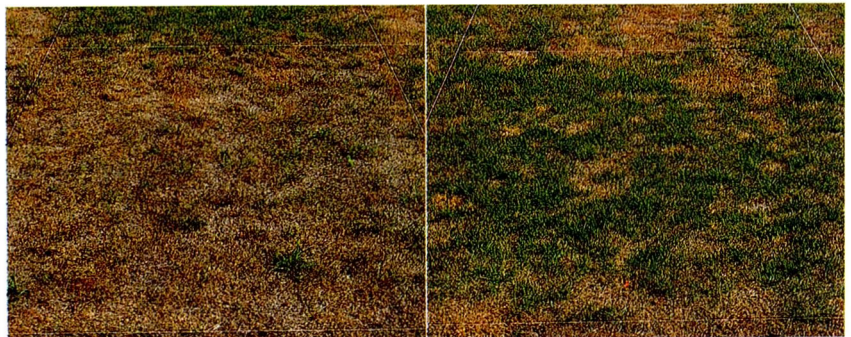
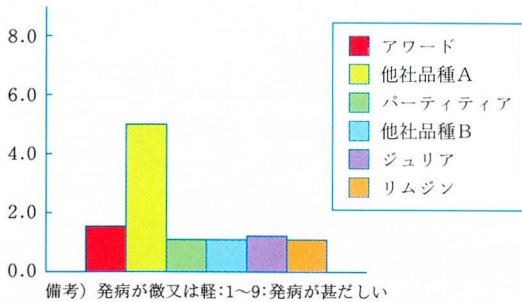


写真1 宮崎研究農場での生育状況（8月）（左…他社流通品種 右…アワード）



備考) 発病が微又は軽:1~9:発病が甚だしい  
 図1 ヘルミント性葉枯病の比較  
 (千葉研究農場:1994年播種試験結果)

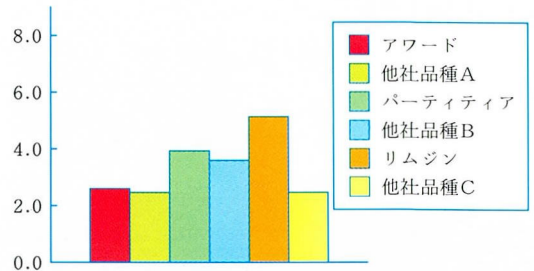


図3 サビ病の発病程度の比較  
 (千葉研究農場:1997年播種試験結果)

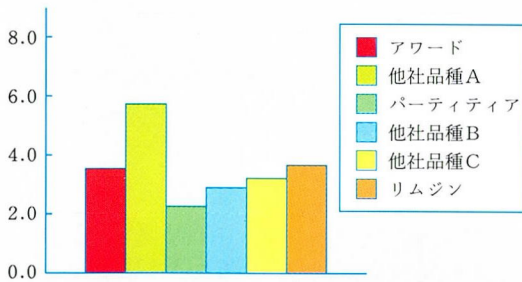


図2 ピシウムブライトの発病程度の比較  
 (千葉研究農場:1997年播種試験結果)

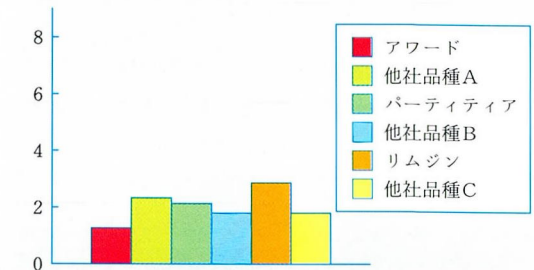


図4 ブラウンパッチの発病程度の比較  
 (千葉研究農場:1995年播種試験結果)

表1 越冬性の比較 (北海道研究農場, 1998年)

品 種 名	冬枯れ程度	萌芽良否
アワード	4.0	4.0
リムジン	3.0	4.7
パーティティア	4.0	4.3
他社品種B	3.7	3.7
他社品種C	3.3	5.3

備考) 評点:冬枯れ程度:軽又は微:1~9:甚だしい、  
 萌芽良否:良:9~1:不良

メンテナンスが必要となり、結果として「作りづらい品種」となります。

4) **ヘルミント性葉枯病**:主に春, 秋期に発生する茎葉病害。「アワード」は抵抗性品種です(図1)。

5) **ピシウムブライト**:高温期に発生する病害で芝生に大きな障害を与える土壌性病害。罹病する品種がある中,「アワード」の発生程度は少ない傾向にあります(図2)。

6) **さび病**:本病は施肥量との関連があり, 施肥量が少ない場合に特に発生しやすく, 春, 秋に発生が多い茎葉病害。「アワード」はその発生程度が非常に少ない品種です(図3)。

7) **ブラウンパッチ**:暖地において梅雨~夏季に特に発生する土壌性病害で, 円形に発生し枯死に

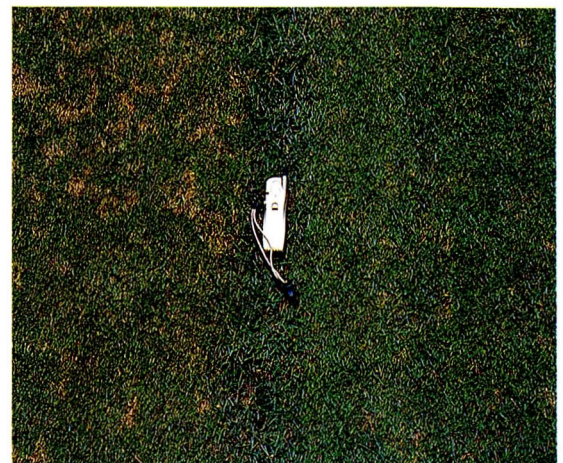


写真2 「アワード」の耐病性比較  
 発生病名:ダラースポット  
 (左…他社流通品種 右…アワード)

至らしめることもあります, 「アワード」はその発生が少ない傾向にあります(図4)。

8) **ダラースポット**:春, 秋に発病が多く, 過乾燥と少肥で発生が助長され, 発病株は地下部まで侵されることから, その回復に時間を要します。「アワード」は発病が非常に少ない抵抗性品種です(写真2)。



写真3 アワードの密度



写真4 アワードの葉色  
(左…他社流通品種 右…アワード)

表2 冬期緑度の比較  
(千葉研究農場。1998年)

品種名	冬期緑度
アワード	5.8
リムジン	5.2
パーティティア	4.8
他社品種B	6.0
他社品種C	5.3

備考) 冬期緑度：良好:9~1:不良

表3 葉色の比較  
(千葉研究農場。1998年)

品種名	葉色
アワード	6.1
リムジン	4.9
パーティティア	5.4
他社品種B	5.7
他社品種C	6.6

備考) 葉色：濃い:9~1:薄い

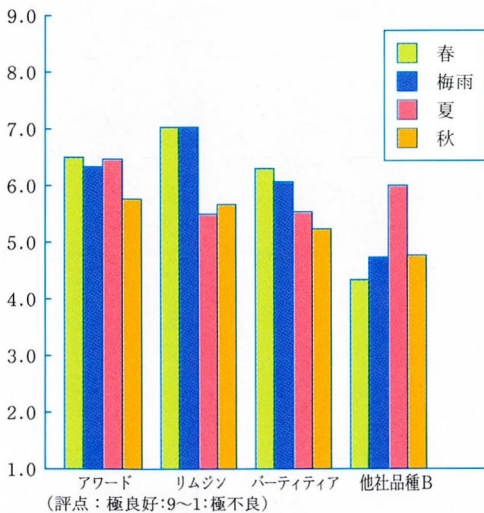


図5 季節毎の密度の推移  
(千葉研究農場：1997年播種試験結果)

9) **冬期緑度**：積雪のない関東以西では冬期の降雪や寒風によって葉が暗紫色（アントシアン）になり、美観が悪くなる品種があります。その中で「アワード」はその発生程度は非常に少なく、冬期の緑度保持が良好です（表2）。

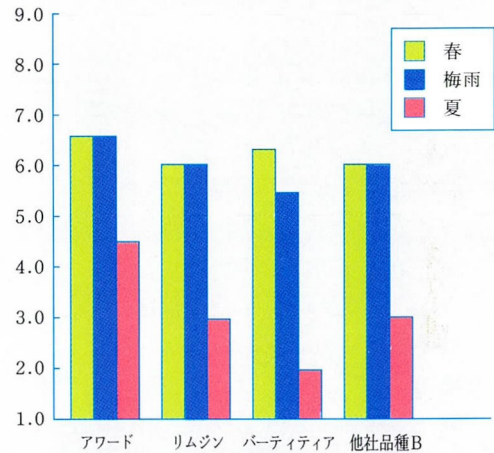


図6 季節毎の密度の推移  
(宮崎研究農場：1997年播種試験結果)

10) **密度の推移**：芝生としての評価をする時、美観に大きなウェイトを占めます。「アワード」は梅雨～夏季の密度低下が少ないことから、年間安定した密度を保ちます（図5，6，写真3）。

11) **葉色**：現在販売、流通されている品種の中で、濃緑色の品種です（表3，写真4）。

### 3 適応地域

前項で記載したように「アワード」は、ケンタッキーブルーグラスが栽培可能な地域であればどこでも適応しますが、従来品種に比較して、越夏性に優れる点が大きな特徴であることから、特に

耐暑性を望まれる地域での利用で、その特性が生かされます。

#### 4 利用場面

ゴルフ場のティグラウンドやフェアウェイ、サッカー等のスポーツフィールド、多目的広場をはじめ、家庭芝での利用も可能です。

#### 5 栽培のポイント

ゴルフ場等で使用する場合は使用場面、目的によって使用する草種の組み合わせや管理が変わってきますので、ここでは家庭芝として利用する場合における栽培のポイントを記載します。

##### 1) 播種時期

春、秋播種が可能ですが、秋播種が可能な地域では雑草との競合や、翌年の越夏性を考慮すると秋播種をお勧めします。

播種期の目安は以下の通りです。

寒冷地：(春) 5月上～7月上

(秋) 8月

温暖地：(春) 3月下～6月中

(秋) 9月中～10月中

暖地：(春) 3月中～5月下

(秋) 9月下～10月下

2) 播種量：15～20 g/m<sup>2</sup>

##### 3) 管理

①刈取り：刈り高：15～25 mm。

生育が旺盛になる4～7月上旬、9月中旬～10月は2～3回/週の頻度が望ましく、この時期を含めて1度に刈られる葉が、2 cm以上にならないように注意します。

②施肥：4～6月及び9～10月は少量の肥料を

1～2回/月程度を目安とし、芝生の生育状況によって加減します。施肥量は窒素の成分量で2～4 g/m<sup>2</sup>を目安とします。夏季(7～8月)の芝草は、高温のために生育が緩慢になりますが、春、秋のような定期的な施肥は必要ありません。しかし、極度の生育の停滞が確認される場合は、液肥による追肥を行います。

##### 4) その他

美しい芝生を維持していくためには、最低限上記で示した刈取り、施肥は必須作業であり、この2つの作業で、ほぼ見た目は綺麗な芝生となります。

しかし、病害の発生が少ないより強い芝生、を作るためには土壌の排水を良くし、根の伸長を促すことが必要です。特に排水の悪い場所では、改良材として砂やパーライト等を混入させたり、表面に勾配をつける等の工夫が必要となります。

#### 6 おわりに

ケンタッキーブルーグラスは、強く、綺麗な芝生をつくる寒地型芝草の代表的な草種です。しかし、その栽培地域は北海道、東北が主でしたが、今回開発された暑さと各種病害に強い「アワード」の利用と適切な管理によって、関東以西の暑さの厳しい場所でも栽培が可能となります。

芝生の存在はコミュニケーションの場所を生活の中に与えてくれます。そして、芝生の緑は生活の中に安らぎを与えてくれます。

従来のノシバ、コウライシバに加え、1年中緑を提供してくれるケンタッキーブルーグラスの利用が、浸透することを願ってやみません。

## ★芝生の管理は根の管理★

バイオの成果……待望の芝生用強力活性剤



# SNOW

# スノーグローエース GROW ACE